

第9号様式(第2条関係)

(第1面)

地域医療支援病院業務報告書

令和7年10月1日

山口県知事 様

郵便番号 740-0021

報告者 住 所 山口県岩国市室の木3-6-11

氏 名 一般社団法人 岩国市医師会

会長 小林 元壯

(電話 (0827) 21局6135番)

下記のとおり令和6年度の業務について、医療法第12条の2第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

名 称	一般社団法人 岩国市医師会 岩国市医療センター医師会病院											
所 在 地	山口県岩国市室の木3丁目6番地12号											
許 可 病 床 数	一般病床		療養病床		結核病床		感染症病床		精神病床		計	
	75 室	181 床	室	床	室	床	室	床	室	床	75 室 181 床	
地域医療支援病院の法定施設	区分		構造設備の概要									
	集中治療室		主な設備		別添1参照		病床数 5床					
	化学検査室		主な設備		別添2参照							
	細菌検査室		主な設備		別添3参照							
	病理検査室		主な設備		別添4参照							
	病理解剖室		主な設備		解剖台 新興計器 1台							
	研究室		主な設備		シャーカステン 1台		システム顕微鏡 1台		システム顕微鏡撮影装置 1台			
			コンピューター 1台									
			主な設備		ストレッチャー他 保有台数 1台							
	講義室		室数 1室		収容定員 120人							
	図書室		室数 1室		蔵書数 2,500冊							
	救急用又は患者輸送用自動車		主な設備		ストレッチャー他 保有台数 1台							
	医薬品情報管理室		専用室の場合 床面積 6.8m ²									
			共用室の場合 室と共用									

(第2面)

紹介患者に対する医療提供等	初診患者数 ①	紹介患者数 ②	逆紹介患者数 ハ	地域医療支援病院紹介率 $\frac{②}{①} \times 100$	地域医療支援病院逆紹介率 $\frac{①}{②} \times 100$
	3,858人	3,224人	3,721人	83.5%	96.4%
	算定期間	令和6年 4月 1日から 令和7年 3月 31日まで			
共同利用	共同利用の実績		MRI 1,595件 CT 265件		
	共同利用の範囲		化学検査室、細菌検査室、病理検査室、病理解剖室、生理機能検査室、放射線科検査室（MRI、CT、X線、乳房撮影、透視、血管造影）、内視鏡検査室、手術室2室、集中治療室5床、病床176床		
	共同利用について定めた規程の有無		（有）・無		
	利用医師等登録制度の担当者	職種	事務職員		
		氏名	津川 智一		
	登録医療機関	名称	開設者の氏名又は名称	開設者の住所又は所在地	主たる診療科目
		別添8			報告者との経営上の関係
常時共同利用可能な病床数			181床		

重症救急患者の受入れに対応した医療従事者	職種	氏名	勤務の様子	勤務時間	備考
	医師	貴船雅夫	常勤・非常勤 専従・非専従	40時間	
	医師	福田雅通	常勤・非常勤 専従・非専従	40時間	
	医師	清水元晴	常勤・非常勤 専従・非専従	40時間	
	医師	茶川治樹	常勤・非常勤 専従・非専従	40時間	
	医師	熊野健一	常勤・非常勤 専従・非専従	40時間	
	医師	藤野修	常勤・非常勤 専従・非専従	36時間	
	医師	長溝大輔	常勤・非常勤 専従・非専従	40時間	
	医師	川口憲二	常勤・非常勤 専従・非専従	32時間	
	医師	中藤嘉人	常勤・非常勤 専従・非専従	40時間	
	医師	池田真圭	常勤・非常勤 専従・非専従	40時間	
			常勤・非常勤 専従・非専従	40時間	
			常勤・非常勤 専従・非専従	時間	
救急医療の提供	重症救急患者のための病床	優先的に使用した病床		15床	
	重症救急患者のための病床	専用病床		15床	
重症救急患者に必要な検査又は治療を行つた診療施設	区分	床面積	設備の概要	24時間使用の可否	
	集中治療室	75m ²	別添1参照	可	
	化学検査室	140m ²	別添2参照	可	
	細菌検査室	29m ²	別添3参照	可	
	病理検査室	30m ²	別添4参照	可	
	手術室	111m ²	別添5参照	可	
	救急処置室	40m ²	別添6参照	可	
	放射線科検査室	255m ²	別添7参照	可	
重症救急患者を24時間体制で受け入れた診療科目		内科・外科・整形外科・小児科			
救急病院の認定状況及び救急医療の実施状況		救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定済み			
救急医療の提供の実績	救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数		821人 (うち入院を要した患者の数 496人)		
	その他の救急患者の数		5,241人 (うち入院を要した患者の数 75人)		
	計		6,062人 (うち入院を要した患者の数 571人)		

(第4面)

研修内容	岩国圏域の医療・介護関係者の交流会（4回） オープンセミナー（6回）				
研修実施回数	10回				
研修生の数	468人				
研修プログラムの有無	(有) • 無				
研修委員会の設置の有無	(有) • 無				
地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修 研修指導者	氏名	職種	診療科目	役職等	臨床経験年数
	(教育責任者) 茶川 治樹	医師	リハビリ科	院長	47年
	(その他) 貴船 雅夫	医師	整形外科	副院長	38年
	福田 雅通	医師	小児科	副院長	37年
	清水 元晴	医師	整形外科	部長	30年
	熊野 健一	医師	麻酔科	部長	29年
	藤野 修	医師	腎臓内科	部長	12年
	中藤 嘉人	医師	内科	部長	28年
	長溝 大輔	医師	麻酔科	部長	23年
	川口 憲二	医師	消化器内科	部長	51年
研修を実施した施設	区分	床面積	設備の概要		
	講堂	277m ²	プロジェクター、マイク、ホワイトボード		
	会議室・研修室	80m ²	プロジェクター、ホワイトボード		

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理办法	管理担当者の氏名	責任者 その他の担当者	茶川 治樹 津川 智一
	診療に関する諸記録(病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等)	保管場所 電子カルテ 医事課	分類方法 患者番号順
	区 分	保管場所	
	共 同 利 用 の 実 績	医療連携室 医事課	
	救 急 医 療 の 提 供 の 実 績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るために研修の実績	総務課	
	閲 覧 実 績	なし	
診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする書類	医療連携室 医事課 地域医療連携センターかけ橋	
	閲覧担当者の氏名	責任者 その他の担当者	茶川 治樹 津川 智一
	閲 覧 場 所	診療室、各ナースステーション、医療連携室、医事課	
	閲 覧 手 続	診療室、各ナースステーション、医療連携室、医事課において閲覧ノートに必要事項を記入する。	
	閲 覧 件 数	医 師 歯 科 医 師 地方公共団体 そ の 他 計	0件 0件 0件 0件 0件
	開 催 回 数		4回
	委員会における議論の概要	医師会病院の実績報告 地域別受診延患者数報告、救急センターの実績報告 訪問診療・往診・訪問リハビリ・訪問看護実績 療育センター実績 地域医療支援病院への要望について	

患者相談	患者相談を行う場所	相 談 室	
	主 な 担 当 者	茶川治樹、小澤伸枝、田村純子 他	
	相 談 件 数	1,106 件	
	相 談 の 概 要	介護保険を含む各種手続きに関すること 退院後の転院先、療養先に関すること 診療内容について（治療方針等）	
その他の地域医療支援病院に求められる取組	病院の機能に関する評価	評 価 の 有 無	④ 有 • 無
		評 価 を 行 っ た 機 関 名	日本医療機能評価機構
		評 価 を 受 け た 時 期	平成27年
	病院の果たしている役割に関する情報発信	情 報 発 信 の 有 無	④ 有 • 無
		情 報 発 信 の 方 法 及 び 内 容	病院だより・ホームページにおいて、病院の機能紹介。市民向け救急講座案内等
	退院調整	退 院 調 整 部 門 の 有 無	④ 有 • 無
		退 院 調 整 の 概 要	在宅への退院に向けてケアマネージャーとサービス調整。 退院が難しい場合、転院に向けて病院・施設と調整
	地域連携の促進	地 域 連 携 ク リ テ ィ カ ル パ ス の 策 定 の 有 無	④ 有 • 無
		地 域 連 携 ク リ テ ィ カ ル パ ス の 種 類 及 び 内 容	大腿骨脛部骨折・脳卒中連携パス
		地 域 連 携 ク リ テ ィ カ ル パ ス を 普 及 さ せ る た め の 取 組 の 概 要	連携する病院と地域連携パスに関する検討会を行っている。 (3回／年)

注 1 報告者の住所及び氏名は、法人にあっては、その主たる事務所の所在地並びに名称及び代表者の氏名を記入すること。

2 報告者の氏名を自署したときは、押印することを要しないこと。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A列4とする。